

【相談事例 1】

大手通販サイトから、「不審な利用があったのでアカウントを停止しました。至急、IDとパスワードを再登録してください」とメールが届いた。記載されていたURLをクリックしたところ、氏名と電話番号、クレジットカード番号などの入力を求められたが、信用できるのだろうか。 (60歳代 女性)

【相談事例 2】

大手クレジットカード会社から「不正利用が多発しているの確認してください」とメールが届き、添付されていたURLをクリックしてカード番号などを入力した。その後、カード会社から「10万円の不正利用が確認された」と連絡があった。 (50歳代 男性)

大手通販サイトやクレジットカード会社、銀行、フリマサービス運営事業者、携帯電話会社など、実在する会社や団体をかたった本物そっくりの詐欺サイトに誘導し、IDやパスワード、クレジットカード番号などの情報をだまし取る手口が多くみられ、センターには事例のような相談が寄せられています。

こうしたトラブルを防ぐため、メールに添付されているURLには安易にアクセスせず、本物かどうか迷った場合は事業者の公式ホームページに注意喚起の情報が出ていないか確認し、不安であれば公式ホームページに記載された電話番号やメールフォームを利用して問い合わせましょう。

また、公式アプリやブックマーク（お気に入り）に登録した事業者のサイトにアクセスすることを習慣にしましょう。メールに添付、または記載されたURLにアクセスし、パスワードやクレジットカード番号など様々な個人情報を入力してしまうと、その情報が不正に利用されてしまうおそれがありますので、絶対に入力してはいけません。

困ったときは一人で悩まず、最寄りの消費生活センターへ相談してください。